

令和6年3月22日



鹿児島市立吉田北中学校

だより 3月号

『巣立つ子どもたちに思うこと』 校長 鮫島 譲

暖かな春の日差しに包まれた3月12日、在校生や保護者、来賓の方々に見送られ、12名の卒業生が吉田北中を巣立っていきました。学校生活におけるあらゆる面でリードしてくれていた3年生。ぽっかりと抜けた穴は在校生だけでなく教職員にとっても大きく、毎朝の正門では、登校しない3年生を無意識に待っていることがあります。正門の掲示板には『卒業生 去れり窓辺に 教師暮れ』の俳句が掲示されています。

さて、ある臨床心理士が、子どもに対する親の仕事として「抱くこと」「子どもの行動に限界を設定すること」「子別れ」の3つをあげています。

「抱くこと」は文字通りしっかりと子どもの存在すべてを受け入れて抱きしめ、守ることです。これは2,3歳くらいまでに親によって担われ、子どもを抱く親を家族がしっかりと支えることによって子どもの生きる力の土台ができます。きちんと愛されて育った子どもは、また人を信じ愛情をもつことができます。

二つ目の「限界設定」は1歳前後から始める必要があるとされています。限界を設定されなかった子どもは、自分の思い通りに事が運ばなかったり、壁に突き当たったりすると簡単に撤退したり、逆にブレーキがかかない攻撃行動にエスカレートをする可能性があると言われています。この二つの基礎工事ができて、初めて三つ目の「子別れ」が可能になります。

どれか一つが欠けても子どもは自立しにくく、子離れ、親離れは難しくなり、思春期になって友達や異性との人間関係にスムーズな移行ができなくなるそうです。子どもから大人への第一関門である思春期の荒波を乗りきったお子さんは、今後ますます親から遠ざかっていくことでしょう。

2月末、4年間の留学のため娘は海外へと旅立っていきました。親の役割は何だっただろう、これでよかったのだろうかと考えたとき、ふとこの話を思い出しました。羽ばたいていく子どもの後追いだけはしないよう、遠く見えなくなっていけばいくほど「わが子は立派に巣立っていった」と誇りに思うことにしよう、自分で納得することにしています。ともあれ、巣立っていく子どもたちに、大いなるエールを送ります。

御協力ありがとうございました

令和5年度吉田北中学校の様々な活動が終わりを迎えようとしています。この間、保護者や地域の皆様方には数々のご支援や御協力をいただき、心より感謝申し上げます。残り少ない日々ではありますが、より効果的で吉田北中らしい特色ある教育活動を行うべく、今年度の活動をすべて見直し、パワーアップした吉田北中を目指して準備を進めていきます。異動により職員構成は変化しますが、受け継ぐべき伝統はしっかりとつないでいきます。

令和6年度の吉田北中の活動に、保護者・地域の皆様方の今年度と変わらぬ御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

話題

第5回学校運営協議会

2月29日(木)に、今年度最後の学校運営協議会を開催し、今年度の鹿児島学習定着度調査結果の分析や学校評価等についての説明を行いました。

来年度も、吉田小学校と合同で学校運営協議会を組織し、年間で4回開催する予定です。来年度は、郷土学習(小:陶芸教室、中:郷土芸能伝承活動)の参観の他に、通常の授業の様子も参観していただき、学校や子どもたちの様子等を直接見て、感じてもらって、ご指導をいただきたいと考えています。



行事

4月の行事予定

- 5日(金) 入学式準備
- 8日(月) 新任式、始業式、第78回入学式
いじめ問題を考える週間(～12日)
- 9日(火) 登校指導、身体測定、
学校生活オリエンテーション
- 10日(水) 知能検査(1年)、NRT(1・2年)
- 11日(木) NRT(1年)、PTA特別専門部会
- 15日(月) PTA会計監査、PTA常任委員会①
- 16日(火) 家庭訪問(1日目)、検尿1次①
生徒会対面式・生徒会専門部会
- 17日(水) 検尿1次①
全国学力・学習状況調査(生徒質問紙)
- 18日(木) 全国学力・学習状況調査(教科)
交通防犯教室(交通安全)
- 19日(金) 家庭訪問(2日目)
- 23日(火) 歯科検診、生徒会専門部会
- 25日(木) 内科検診
- 28日(金) PTA総会、学級PTA

暖かい陽の光が降り注ぎ、桜の蕾も膨らみ始めた春の訪れを感じるこの良き日に、私たち12名は卒業します。

この吉田北中学校で過ごした3年間。楽しく笑い合っていた毎日が大切な思い出です。

私たちが入学した3年前の春、新型コロナウイルスによる制限も少しずつ緩和され、先生方や両親、先輩方に見守られながら、大きな期待を胸に抱きこの体育館に足を踏み入れました。

1年生の時は全てのことが新しく、戸惑うことばかりでした。弁当の日や文化祭、生徒会活動も、分からないことが多く、試行錯誤の毎日でした。先生方や先輩方にいつも助けていただきました。2年生になると初めての後輩もでき、中学校生活にも慣れてきました。学校行事も1年前より良いものを自分たちの力で作ろうと皆で考えて取り組みました。時には意見が食い違いぶつかることもありましたが、自分の思いをぶつけ合うことでより良い考えを思いついたり、相手の本当の気持ちを理解できたりという発見をすることもできました。3年生になると、私たちが学校の中心を担っていかねければ、という強い使命感も生まれました。76期生徒会として、「戮力協心～更なる高みを目指して～」をスローガンに、よりよい吉田北中学校を目指して皆で取り組みました。これまでの先輩方が行ってきた活動を引き継ぐことができるのか心配していましたが、たくさんの方々に協力していただき、一つ一つの活動をやり遂げることができました。

在校生の皆さん。私たちは、頼れるかつこいい先輩にはなりきれなかったかもしれませんが、いつも協力してくれた皆さんに感謝しています。これからも、大変なときや困ったときには仲間と協力して乗り越えていってください。そして新しいことに挑戦し、よりよい吉田北中学校を築いていってください。ずっと皆さんのことを応援しています。

3年間お世話になった先生方ありがとうございました。先生方がいつも私たちのことを気にかけて、相談に乗ってくださったおかげで、楽しく学校に通うことができました。先生方に教えていただいたことを活かして頑張っていきます。本当にお世話になりました。

そして、誰よりも感謝を伝えたいのは、両親です。この15年間、辛いときも嬉しいときも、いつも一緒に泣いて笑って、支え続けてくれたことに、幸せと感謝を感じています。時には素直になれず、ぶつかってしまうこともありましたが、いつも温かく見守っていてくれました。日頃恥ずかしくて口にする事の出来ない感謝の気持ちを伝えさせてください。お父さん、お母さん、本当にありがとうございます。これからもよろしくお祈りします。

最高の仲間と素晴らしい学校生活を送れたことに感謝し、私たちは卒業します。学校行事に全力で取り組み、盛り上がった日々も、教室で一緒に笑い合った日々も大切な思い出です。これから私たちはそれぞれの道を歩んでいきます。皆との思い出を糧に、どんなに辛くても、自分の夢を叶えるために前を向いて進んでいきます。

本日は、私たちのためにこのような素晴らしい卒業式を開いてくださり、ありがとうございました。



中学校生活にも慣れてきました。学校行事も1年前より良いものを自分たちの力で作ろうと皆で考えて取り組みました。時には意見が食い違いぶつかることもありましたが、自分の思いをぶつけ合うことでより良い考えを思いついたり、相手の本当の気持ちを理解できたりという発見をすることもできました。3年生になると、私たちが学校の中心を担っていかねければ、という強い使命感も生まれました。76期生徒会として、「戮力協心～更なる高みを目指して～」をスローガンに、よりよい吉田北中学校を目指して皆で取り組みました。これまでの先輩方が行ってきた活動を引き継ぐことができるのか心配していましたが、たくさんの方々に協力していただき、一つ一つの活動をやり遂げることができました。

3月7日(木)に、生徒会保健環境部主催のスポーツタイムが開催されました。全校生徒と職員が参加して、ソフトバレーボールを楽しみました。競技が始まると、生徒たちだけではなく、先生方も一緒になって好プレー・珍プレーを連発して、大いに盛り上がっていました。閉会式では、優勝チームに生徒会の手作りのメダルが授与され、大きな拍手が送られました。スポーツタイム終了後には、生徒会執行部による3年生とのお別れ会と生徒会活動の表彰(多読者賞や吉北健康賞、朝のあいさつ運動取組賞)が行われました。



3月8日(金)に、3年生にとって、学校給食最後のイベントとなる卒業記念給食(お楽しみ給食)を実施しました。開会のセレモニーには、吉田学校給食センターから東郷栄養教諭がおいでくださり、心温まるメッセージをいただきました。

お楽しみ給食では、「メロワッサン」や「えびカツ」、「もちクリームアイス」など、全11品のメニューが用意され、友達や学年部の先生方との会話を楽しみながら、美味しそうに食べていました。3年生にとって、中学校生活の思い出の1ページとなる給食になったことでしょう。

